

岡崎市立中央図書館大量アクセス事件

What happens?

「岡崎市立中央図書館の蔵書検索システムに接続できない」
との苦情があった

苦情を受け図書館が警察に被害届を出したところ
ある男性Lが逮捕された

20 days later

故意に行われたものでない
(悪意があった訳ではない) として

Lは釈放された

Cause of this affair

蔵書検索システムが非常に不便だった為、Lは便利に使うためのプログラム（合法）を組んで使っていた



このプログラムが不具合を起こした

しかし

当時、同様のプログラムによる被害（不具合）が他のシステムでも報告されていた

この事件の後、Lの逮捕について

不具合が起こることを分かっていたながらも不具合が生じることを図書館に報告しなかったソフトウェア制作会社に責任があるのか。違法ではないとしてもLがプログラムを図書館の許可なしに実行したことが問題だったのか。 ネットで議論された